



2026 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 日本航空電子工業株式会社
代表者名 社 長 村木 正行
(コード番号 6807 東証プライム市場)
問合せ先 経理部長 小山 克之
(TEL 03-3780-2752)

2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026 年 4 月 24 日に公表しました 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、当該実績値および直近の業績動向を踏まえ、2026 年 4 月 24 日に公表しました通期連結業績予想についても修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想値と実績値の差異（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	120,000	3,800	3,500	2,700	40.04
今 回 実 績 値 (B)	123,564	3,279	2,181	1,390	20.62
増 減 額 (B-A)	3,564	△ 521	△ 1,319	△ 1,310	—
増 減 率 (%)	3.0%	△ 13.7%	△ 37.7%	△ 48.5%	—
(ご参考)前期 第2四半期実績	110,441	4,760	4,736	3,116	46.23

2. 2027 年 3 月期通期連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	240,000	9,500	8,500	6,000	88.98
今 回 修 正 予 想 (B)	255,000	10,500	7,800	5,000	74.13
増 減 額 (B-A)	15,000	1,000	△ 700	△ 1,000	—
増 減 率 (%)	6.3%	10.5%	△ 8.2%	△ 16.7%	—
(ご参考)前期実績	227,872	8,937	8,248	7,069	104.87

3. 差異および業績予想修正の理由

第2四半期（中間期）の連結業績につきましては、スマートフォン向けなど、一部携帯機器向け需要に弱さがみられたものの、期後半にかけて自動車、産機・インフラ市場を中心とした堅調な需要が牽引したことで、売上高は概ね計画に沿って推移しました。一方、利益面では、第1四半期において一部市場の需要が想定を下回って推移したことに加え、銅などの原材料価格の一段の高騰や、人件費などのコスト上昇が利益を押し下げました。さらに為替変動の影響を受け為替差損を計上したことにより、前回発表予想を下回る結果となりました。

通期の連結業績予想につきましては、自動車市場での日系顧客向け ADAS 製品の需要拡大や、活発な AI 半導体及びデータセンター向け投資を背景に、産機・インフラ市場での更なる需要拡大が見込まれることなどから、売上高は前回予想を上回る見通しです。利益面においては、期前半からのコスト増要因は継続するものの、営業利益は売上高の増加に加え、売価適正化やコストダウン、開発費回収を見込んでいることから、前回予想を上回る見通しですが、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、上期で発生した為替差損などによる営業外費用の増加を見込むため、前回予想を下回る見通しです。

以上の見通しから、通期の連結業績予想を、上表のとおり修正いたします。

現在、中期経営計画に沿って推進しているポートフォリオ変革や事業基盤強化の取り組みを加速し、収益性の改善と売上拡大につなげてまいります。

なお、見通しの前提となる下半期の為替レートは、1米ドル155円としております。

（注）上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上